

Ⅰ 町内会等について

(1) 町内会等ってなに？

町内会等は、一定の区域に暮らす住民の皆さんで組織する任意団体で、主に住民相互が助け合いながら自分達の地域をよくするためにさまざまな活動を行っている最も身近な住民組織です。

(2) 町内会等ってなぜ必要？

・大規模災害時など、いざという時の助け合いに繋がります。

たとえば、阪神淡路大震災では約8割の人が建物の倒壊などにより亡くなりましたが、救助された約8割の人は家族や近所の人等によって助けられました。町内会等が、いざという時に助け合える人との出会いや顔の見える関係づくりができる場になります。

・顔の見える関係が、暮らしの安全に繋がります。

緩やかでも地域とつながり、顔見知りがいたらお互い助け合うこともできます。それは高齢者や、子どもにとっても安心して暮らせることに繋がります。

・地域との交流が愛着を育み、心豊かな生活に繋がります。

町内会等では、地区運動会や夏祭りなど様々な親睦・イベントを企画しています。地域との交流が孤独感の解消や地元への愛着を育み、日々の生活をより充実させます。



町内会等は皆さんの生活をより良くするための組織です。

(3) 町内会等を新たに組織するときに注意することがありますか？

構成する世帯数が少ない町内会等では、町内会等での事業（住民同士の交流事業、清掃活動、防犯・防災活動など）の実施が難しくなっています。具体的な望ましい規模は、地域の状況により異なるため一概には言えませんが、一定程度の規模で構成することにより、地域活動が充実し、住みよい地域が創られます。

(4) 今の町内会等の世帯数が少なく、地域活動が円滑に進みません。隣の町内会等と合併をしたいと考えていますが、どのように進めたらよいのでしょうか？

合併については、双方が合意のうえで、慎重に進める必要があります。次のようなことに留意して合併協議を進めてください。

◆合併の話し合いを始める前に

◎合併の必要性の検討（メリット・デメリット）

【メリット】

- ・活動に多くの参加者が見込める。
- ・会費収入が増えて財政が安定する。 など

【デメリット】

- ・役員の負担感が増す。 など

このようなメリット・デメリット等を踏まえ、相互理解を深めることが大切です。

◎顔の見える関係づくり

⇒例えば、会費の擦り合わせ、集会所の使用ルールの制定などにおいて、お互いの状況を理解し、落としどころを見つけたりすることが、合併協議をスムーズに進めます。

◆合併協議は慎重に、じっくりと

◎時間をかけて話し合い

⇒協議が不十分だと、合併後にかえって運営に支障をきたす事態が発生しかねませんので、注意が必要です。

◎住民への説明

⇒合併に際して一番大切なことは「住民感情の整理」です。経過説明を怠らないようにするなど、あらゆる調整を慎重に行うようにしましょう。

◆新町内会等の設立

◎設立総会の開催

⇒設立総会に向けて、規約案、事業計画案、予算案等を盛り込んだ議案書を作成します。当日の次第や進行方法、議長の選出方法など、総会の流れに関することも事前に決めておきましょう。

◎さらに良いまちを目指して

⇒スムーズな運営には時間がかかる場合もあります。失敗ばかりに目を向けるのではなく、合併の成果についても話し合い、やりがいや面白さの再認識に繋がります。